

島根原発稼働はダメ！！ あきらめない！！ ～前号からの動き～

中電は、2号機の審査は2月に基準地振動を820ガルにしてクリアした（まだ審査中）とし、8月には地元自治体の同意が得られたと島根原発3号機の審査申請を行いました。

しかし、規制庁は9月5日、「3号機申請に苦言 審査できない」（朝日）としました。

この2ヶ月弱の新聞報道を見ても、再稼働を認めるわけにいかない出来事が相次ぎました。いずれ必ず起こると言われている首都圏直下型地震、南海トラフ地震。予測不可能な火山噴火。日本列島に原発は向かないのです。同じ地震多発地帯の台湾は、福島第一事故を受け2025年までに原発ゼロを決めました。世界は原発ゼロに向かっています。しかし、日本の基本計画では、2025年は30基が運転している計画。現在動いているのは7基、あと23基は動かすということです。このまま進めさせていいはずがありません。（日本の原発の実態…裏面）

将来に禍根を残さないために

2号機再稼働反対、3号機新稼働反対の声を大きく広げましょう！



再稼働は
反対だにゃー

- 9/6 「未明、北海道で震度7の地震発生」（朝）…震源に活断層はない
- 9/6 「北海道全域でブラックアウト」（朝）…規模が大きい苫東厚真発電所に人や資源を集中させ、最大限活用すれば、コストが安く済む北電の経営の効率化優先の姿勢。原発、海外炭火力、LNG火力の大規模電源をベース電源とし優先させる日本政府のエネルギー基本政策の問題点が露わになった
- 9/15 「福島第一新たに防潮堤 北海道沖超巨大地震の見解受け」（朝）…政府の地震予測「長期評価」（M8・8以上の超巨大地震が30年以内に最大40%の確率で起きるとした）を受け東電が方針転換
- 9/22 「太陽光発電 “19年問題”に備えよ」（朝・社説）…来年11月以降10年間の買い取り期間が終わる住宅が相次いで出始める問題
- 9/26 「伊方3号機 広島高裁が運転容認」（朝）…2017年12月同高裁の「阿蘇山の破局的噴火を起こすリスクを理由に運転差し止め」を覆す。根拠は「社会通念」（エッ！）
- 9/27 「東海第二“適合”を決定、残る規制委の認可、再稼働見通せず」（朝）
- 9/27 「立地と周辺溝深く 自治体同意拡大に警戒感」（陰）…今年3月原電が東海村に加え周辺5市からも「事前了解を得る」とした新協定がむすばれ、さらに、周辺2市も加わる合意もある
- 9/28 「核燃料取り出し4度目の先送り 福島第一3号機廃棄にも影響」（朝）…3号機の使用済み燃料プールは566体の核燃料を冷却しながら保管しているが、新たな地震や津波で冷却できなくなる恐れ
- 10/10 「極度干ばつ1.1億人 洪水2倍 気温1.5度上昇 IPCC警鐘」（朝）
- 10/14 「九電太陽光の電力抑制 背景に原発4基再稼働 再生エネルギー岐路に」（朝）
- 10/17 「東電元副社長 部下証言と全面対立」（朝）…福島原発事故の強制起訴裁判で

朝日新聞・山陰中央新報記事より

*** 日本太陽エネルギー学会研究発表会連動企画 ***

セミナー「住宅用太陽光発電 システムの安心・安全な利用のために」

ご案内！！ ◇とき◇ 11/7（水）13時～ ◇ところ◇くにびきメッセ

定員50名（参加費無料）。どなたでも参加できます。別紙チラシをご覧ください。

お問合せ・申込先 市民共同発電まつえ；上園（ウエゾノ）

*メール、またはお電話でお申し込みください

メール：matsue.power@gmail.com 電話：090-3266-9506



裏面もご覧
ください！

